

古希を過ぎてミュージカルの舞台に立つ



プログラムの表紙

先月の本欄でご紹介したミュージカル「赤毛のアン」の舞台が11月2日、3日と東京国際フォーラムで上演されました。昼・夜と計4回。主催は舞台芸術活動を通して青少年の育成と国際交流を進め国連を支援している内閣府認証のNPO法人「国連クラシックライブ協会」。プログラムには岸田外務大臣、カナダ大使館広報部長などのメッセージも載っており、公演には来賓として外務省・環境省・14の大使館の関係者なども出席していました。出演者が100人を超える舞台は圧巻でした。個人的にもいろんな刺激を受け身体も心も若くなったような気がします。その経過をご報告します。

8月12日、オーディションにパスするとすぐに練習が始まりました。私の場合、8月9月中は週に2回ほど、参宮橋にあるオリンピックセンターに行き、午後6時から10時までの練習。初めはオープニングとフィナーレの舞台を飾る総勢約100人の「アンダンス」に私も取り組みましたが、激しい動きについていけず、しかも汗をかいた後の体調管理を怠り風邪をこじらせ副鼻腔炎になって2週間余り練習を欠席してしまいました。体調が戻ると監督の配慮で軽いダンス付きのコーラスのみへの出演となったのです。ところがそこで予期しなかった展開も出てきました。監督よりの依頼が3点。

- ① 休憩時間に作品の背景や歴史等について練習仲間に語ってください
- ② プログラムに「赤毛のアン」についてのエッセイを書いてほしい
- ③ 国連をサポートする団体として、フィナーレでの主人公アンのメッセージをいろんな言語で世界に発信したい。ついてはその言語の一つスペイン語で観客席に挨拶してもらいたい

舞台出演の場面が少なくなった一方で、大事な役割を与えられ、結果的に10月は週3回ほど、本番前の週は連日、練習参加となったのです。本番ではスペイン語での挨拶の際に、強いスポットライトに前方の客席がよく見えず、最初はちょっと上がってしまったのですが、2回目からはなんとか重責を果たすことができました。

フィナーレでの挨拶(左から主人公アン、フランス語、スペイン語、韓国語、英語)

宝塚の元トップスターや現役のスター、松竹歌劇団や劇団四季の出身の名優など、さらに無名であってもここが登竜門となってやがて帝劇の「レ・ミゼラブル」の舞台に立つであろう、と思われる歌も踊りも有能な若い仲間と、古希を過ぎて都内でも有数の劇場の舞台に立つという貴重な経験ができたことは最高です。いきさつは地元のシニアクラブ会長





舞台出演の夢に向かって

千人を超える観客の前でミュージカルの舞台に立つ——人生で初めての経験に少しワクワクしている。

舞台芸術を通して国際交流に取り組むNPO法人・国連クラシックライブ協会がミュージカル「赤毛のアン」の出演者を一般募集、という本紙の記事(8月8日)を見て応募した。幸いにオーディションにパス。なぜこの年で? L・M・モンゴメリー著の同原作が5年前の出版100周年の際に、物語の舞台・カナダのプリンスエドワード島を訪ねたことがあったからだ。

この時も一部の友人は言った。「いい年をした男が、なぜ少女の物語に魅かれるのかい?」。英文の原書、日本で初めての村岡花子訳と最新の松本侑子訳を読み込むうちに、主人公アンの何事にもめげず明るく進む姿に虜になった。そして「男性も、また身体だけでなく心も枯れつつあるシニアこそ、アンの瑞々しさを学ぶべきだ」と思い主張するようになったのだ。

公演は11月初め(2日・3日)。会場は都内有数のホール(東京国際フォーラム)。今、仕事を終わって演習に駆けつけている。まだ音符が拾いきれず、ダンスも足がもつれたりして若い仲間にはとても追いつかないが、現役医師の日野原重明氏が100歳でミュージカル「葉っぱのフレディ」のニューヨーク公演を演出・出演したという姿に勇気をもらい、自分も年齢なりに挑戦しているところだ。

夢を追うアンにこちらの舞台出演の夢もせて——

日本ペンクラブ 清水 武

の勧めでオーディションに臨んだところからことが進んでいったわけですが、“人生は思わぬ展開があることもある”と思った次第です。

コーラスの音符もさっと拾えず、ダンスもステップを踏み間違えるなど、高齢による体力劣化は防ぎようがないと思っ

たところですが、先月の随想でも触れているように、アンの瑞々しさと若者たちとの交流の中で心の若さが培われてきたような気はします。「明日という日はいつも新しいんだから!」。辛いことがあっても悲しいことがあっても、前へ前へと進むアンのように、年はとって夢を抱き前へ前へと進む人生でありたいと思ったところです。

写真：フィナーレの左側半分(筆者：後列左端)とプログラムに載ったエッセイ(なお、来年4月からのNHKの朝ドラは「花子とアン」だそうです)